2021 年（令和 3 年）9 月 27 日（火）
エコチル調査コアセンター

論文における背景要因の記述について

エコチル調査のデータを用いた論文執筆時の背景要因の記載については、2021 年 9 月 15 日付 UC 連絡協議会の以下の合意に基づき運用します。

（2021 年 4 月 6 日合意）

- ○ エコチル調査のデータを用いた論文執筆時に、主要アウトカムに対して、主要曝露要因以外の共変量についての効果の指標（アウトカムが 2 値変数の場合のリスク比（オッズ比）及びその 95%信頼区間、並びに、アウトカムが連続変数の場合の平均値の差の検定及びその 95%信頼区間等）については記載しない。
- ○ 但し、既に論文化された課題において当該アウトカムに対する主効果の指標が示されている項目はこの限りではなく、適切に引用したうえで、記載してもよい。
- ○ なお、論文の論理構成上、共変量候補について crude の検定結果等を示す必然性がある場合には、この限りではないが、その場合は最小限の事実の記載のみにとどめ、記述の仕方についても十分に配慮すること。記述内容がユニットセンター連絡協議会の合意の趣旨を逸脱するおそれがある場合には、投稿を承認しないことがある。

（2021 年 9 月 15 日追加合意）

- ○ 主要曝露要因に対する背景要因の記述における p 値の記載については推奨しない。
- ○ 但し、論文を執筆した各研究者の科学的な論理を尊重する。また、投稿先ジャーナルのエディターや査読者の意見を尊重する。
- ○ この運用により、ある論文で背景要因の記述において p 値の記載があり、その項目が、他の課題の主要テーマ（アウトカム）と重複したとしても、crude の検定結果から関連性を結論づけることはできないし、テーマの重なる研究者は調整解析の結果をもって最終的に論じるので、重複の問題はないとの立場をとる。

なお、論文投稿時に、査読者または編集者から背景要因の記述において p 値を求められた場合には、以下の方針を適宜改編し、利用してください。

In JECS, statistical analyses and inferences are carried out according to the Strengthening the Reporting of Observational Studies in Epidemiology (STROBE) [1]. We also recognise the principles of the ASA Statement on Statistical Significance and P-Value [2]. As explained by Vandenbroucke JP, et al [1], significance tests are avoided in descriptive tables and p-values are not used as a criterion for selecting confounders to adjust for in JECS.

[1] Vandenbroucke JP, von Elm E, Altman DG, Gøtzsche PC, Mulrow CD, Pocock SJ, Poole C, Schlesselman JJ, Egger M; STROBE Initiative. Strengthening the Reporting of Observational Studies in Epidemiology (STROBE): explanation and elaboration. PLoS Med. 2007 Oct 16;4(10):e297. doi: 10.1371/journal.pmed.0040297.
[2] Wasserstein RL, Lazar NA. The ASA's statement on p-values: context, process, and purpose. Am Statis 2016

（ご参考）STROBE 抜粋

14. Descriptive data: 14 (a). Give characteristics of study participants (e.g., demographic, clinical, social) and information on exposures and potential confounders.

"Inferential measures such as standard errors and confidence intervals should not be used to describe the variability of characteristics, and significance tests should be avoided in descriptive tables. Also, P values are not an appropriate criterion for selecting which confounders to adjust for in analysis; even small differences in a confounder that has a strong effect on the outcome can be important [144,145]."